

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。

生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

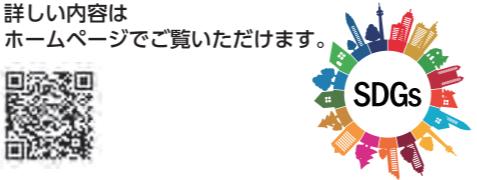
旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはあります。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。



様々なサステイナブルな旅
づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページをご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受領した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

(1)パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

①運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)

②送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金

③宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋2名で宿泊した場合を基準にします。)

④食事の料金(機内食は除く。)及び税・サービス料金

⑤添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用

⑥観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等

⑦航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金

⑧団体活動時の必要な心配付け

⑨旅行日程中の海外の空港税、同窓行税、同空港利用料

⑩その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの

(2)前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくとも払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

(1)超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)

(2)個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

(3)渡航手続関係費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)

(4)お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」

(5)日本国外の空港施設使用料、国際観光旅客税

(6)港湾利用料、政府関連諸税等

(7)燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

(1)部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めていますが、各

旅行企画・実施 ワールド航空サービス

□ 東京支店 TEL : 03-3501-4111

東京都代田区本町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 ™100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL : 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-3 大阪駅前3ビル29階 ™530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣

□ 名古屋支店 TEL : 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICCO栄8階 ™460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

*総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業者201号

WEBもどうぞ ワールド航空 検索 <https://www.wastours.jp>

□ 九州支店 TEL : 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多駅ビル2階 ™812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 艾子

□ 札幌支店 TEL : 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 ™060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 藤沢支店 TEL : 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アーバンビル 3階 ™251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

*総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業者201号



- ① デラックス・バスで巡る トルコ・バス大周遊3000キロの旅
- ② 国内線で巡る 連泊滞在トルコ周遊の旅
- ③ 東トルコ・ネムルート山とギョベクリ・テペ遺跡の旅
- ④ ヒッタイト王国とフリギア王国、2つの古代文明を訪ねて
- ⑤ 悅久のイスタンブール満喫の旅



圧巻の大自然と古代遺跡、
そして歴史ある古都。
神秘に包まれたトルコの大地を巡る旅へ。

イスタンブール(イメージ)

デラックスバスで巡る トルコ・バス大周遊3000キロの旅 15日間

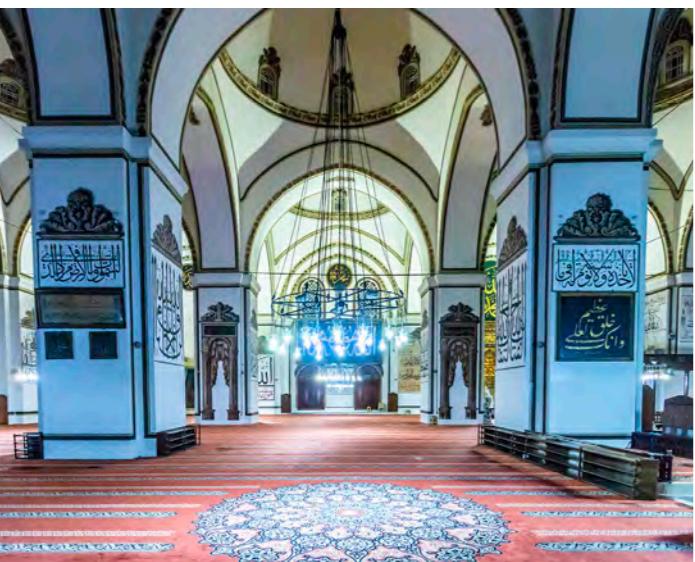


ブルサのウル・モスク（グランドモスク）（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

オスマン朝発祥の地、世界遺産ブルサに連泊します

トルコで最初に訪れる町が、オスマン帝国最初の都ブルサです。イスタンブールからマルマラ海を挟んだ向かいに位置するこの古都はシルクロードの要衝として栄え、紀元前にはマケドニア王国とも交流があった歴史の深い町です。オスマン朝の初代から第5代までのスルタン廟が残され、大帝国の第一歩を後世に伝えています。古都ブルサからツアーガスタートし、後の都イスタンブールで旅を締めくくります。



ブルサのウル・モスクは大きさだけでなく、内部の装飾も見事です

ローマ神話ゆかりの世界遺産アフロディシアスを訪問

名はそれほど知られていませんが、アフロディシアスもトルコの世界遺産のひとつであり、紀元前1世紀から5世紀にかけて繁栄したローマ時代の大きな都市のひとつでした。紀元前1世紀、ローマの将軍スッラがデルフィの神託に従い女神アフロディーテに斧と金の冠を奉納したことによって、その名がつけられました。近くに大理石の採掘所があり、

大理石の輸出で大きな富を得ました。素晴らしい保存状態の遺跡をお楽しみください。



遺跡をじっくりとご案内します



保存状態のいい円形劇場



ツアープランナーより

トルコは日本の約2倍もの国土を持ち、人類最古の宗教施設からオスマン帝国の建築に至るまであらゆる時代の史跡や美しい自然景観が各地に点在しています。人気の観光地を効率よく国内線で移動するのもいいのですが、ゆっくり時間をかけながらバスで周遊するのも魅力的です。道中、目にするトルコの風土はより旅の印象を深め、3000キロを走破した達成感はバスの旅でしか味わえない醍醐味。またバスの旅だからこそ、訪れる機会が少ない、ジュマルクズクやサフランボルなど味わい深い小さな町や村に立ち寄ることができます。15日間の日程で、連泊を主体にした移動のお疲れを軽減すべく、デラックスバスを利用します。旅好きの方にご注目いただきたいトルコ周遊コースです。

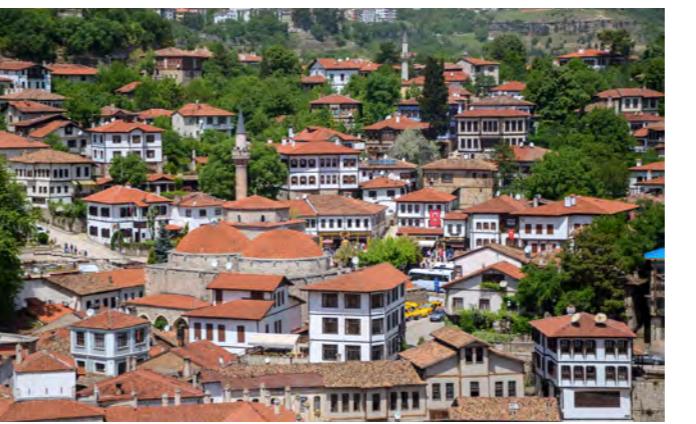
宿場町として栄えた

世界遺産の古都サフランボルに連泊し散策を楽しむ

シルクロードの中継地であり、オスマン帝国時代の14世紀から17世紀にかけて宿場町として栄えたサフランボル。黒海沿岸から近く、昔は香料サフランの集積地であったことから「サフランの町」という意味でサフランボルと名付けられ、発展しましたが、近代化の波には取り残されました。しかしそれが奏功し、今も伝統的な木造家屋や隊商宿の跡が残っています。世界文化遺産に登録されたこの町に、2連泊してご案内します。



サフランボルの旧市街散策が楽しめます



昔ながらの家並みを残すサフランボル。ひしめきあうように赤屋根の家々が建ち並びます（イメージ）

ツアーの見どころ

イズニックタイルの産地イズニックを訪問

イズニックは、オスマン帝国下で数々のモスクを彩ったタイルの産地として知られています。通常のツアーでは訪れる機会は少ないので、オスマン帝国の最初のモスクや博物館など見どころも豊富です。



イズニックタイルの技法はカラフルな陶器にも（イメージ）

移動にはデラックスバスを 利用します

このたびは少しでもお身体のご負担を軽減できるようにデラックスバスを利用。座席の配列が2-1列のため、車内の通路が広くゆとりがあります。シートは革張りで上質感があり、お手洗いも完備されています。



デラックスバスのゆとりのある座席（イメージ）

ご宿泊ホテル

- ブルサ：アルミラ・ホテル
- チャナッカレ：コリン・ホテル ※シャワーのみの客室となります。
- イズミール：ウインダム・グランド・イズミール・オズディレック
- パムッカレ：パム・サーマル・ホテル・クリニック&スパ
- コンヤ：グランド・ホテル・コンヤ
- カッパドキア：ウチヒサール・カヤ
- サフランボル：ヒルトン・ガーデン・イン ※シャワーのみの客室となります。
- イスタンブル：スラ・ハギア・ソフィア

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めていますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

ツアーコード：ME031T

集合・日数・出発日

旅行代金

【成田空港集合・15日間】

ツアーコード：ME031T

2025年5月29日(木),
9月25日(木)

エコノミークラス利用

￥598,000

ビジネスクラス利用

￥1,118,000

(お一人でご参加のお客様は、1室利用追加代金￥140,000にて承ります)

ビジネスクラス利用区間：成田空港～イスタンブル間往復に適用

燃油サーチャージ別途目安：￥68,500：11月1日現在

地方発着追加代金 大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 各支店へお問い合わせください

福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000

各支店へお問い合わせください

（2連泊）（ブルサ泊） □機械

1 成田空港10:15発 → 午前、成田空港より、ターキッシュエアラインズ直行便にてイスタンブルへ。

着後、オスマンの古都ブルサへ。

（ブルサ泊） 朝昼夕

2 ブルサ 終日、オスマン帝国発祥の地、ブルサの落ち着いた佇まいの町をお楽しみください。●ウル・モスク、●オルハンガーズィー霊廟、○ブルサ・バザールなど多くの見所があります。（ブルサ泊） 朝昼夕

3 ブルサ09:30発 → ユジマルクズク → チャナッカレ17:00着 午前、700年の歴史を誇るオスマンの古い村、ユジマルクズクの散策にご案内します。その後、チャナッカレへ。（チャナッカレ泊） 朝昼夕

4 チャナッカレ08:00発 → トロイ遺跡 → ベルガマ遺跡 午前、木馬の伝説で知られるトロイ遺跡の観光にご案内します。その後、ローブウェイにてアクロポリスの丘へ上がり、ヘレニズム文化の集大成ともいえるベルガマ遺跡を見学します。

（イズミール泊） 朝昼夕

5 イズミール08:00発 → エフェソス遺跡 → パムッカレ17:00着 午前、●エフェソスの古代遺跡（一部修復中）、および●考古学博物館をご案内します。その後、紀元前3世紀の都市遺跡●アフロディシアスを訪れます。

見学後、美しい石灰岩と古代遺跡で知られるパムッカレへ。夕刻、石灰岩へのビンクに染まった景観をご覧ください。（注）（パムッカレ泊） 朝昼夕

6 パムッカレ09:30発 → コンヤ18:30着 午前、ペルガモン王国以来の聖なる都市●ヒエラポリス遺跡の見学。その後、アナトリアでも随一の宗教都市として発展したコンヤへ。（コンヤ泊） 朝昼夕

7 コンヤ09:00発 → カッパドキア16:00着 午前、旋舞祈禱で知られる教団ゆかりの品が展示されるメヴラーナ博物館、●アラアップディン・モスクなどを見学します。その後、カッパドキアへ。ご宿泊は奇岩群に囲まれた洞窟風ホテルをご用意しました。（カッパドキア・洞窟風ホテル泊） 朝昼夕

8 カッパドキア（神秘的な夜明け）（ウチヒサール）（カイマクル）（ローズバレー） 朝、ご希望の方はカッパドキアでの神秘的な夜明けの見学へご案内します。（注）本日はカッパドキアの見所へご案内します。○要塞村ウチヒサール、○暗闇の教会、地下都市●カイマクルなどお楽しみください。夕刻、カッパドキアのなかでも絶景で知られるローズバレーへ。夕暮れの景観をお楽しみください。（注）（カッパドキア・洞窟風ホテル泊） 朝昼夕

9 カッパドキア08:00発 → アンカラ → サフランボル18:00着 午前、トルコの首都アンカラへ。着後、●アナトリア文明博物館、○アンカラ城を見学します。その後、サフランボルへ。（カッパドキア・洞窟風ホテル泊） 朝昼夕

10 サフランボル（世界遺産の古い町並み散策） 午前、サフランボル旧市街の観光。オスマン朝時代の古い町並みが時がとまったかのように残る旧市街の散策にご案内します。午後、自由行動。（サフランボル泊） 朝□夕

11 サフランボル08:00発 → 古都イズニック → カーリエ・モスク → イスタンブル17:30着 午前、訪れる機会の少ない古都イズニックへ。着後、●イエシル・モスク、オスマン朝最古の歴史を誇る●ハジュ・オズベク・モスクなどの観光にご案内します。その後、ビザンチン芸術の傑作が見られるカーリエ・モスクに立ち寄り、イスタンブルへ。（イスタンブル泊） 朝昼夕

12 イスタンブル → トプカプ宮殿 午前、トプカプ宮殿を見学。ハレム内部を含め、じっくりとご案内します。昼食後、●エジプシャン・バザールの散策と自由時間。近くのリュステム・パシャ・モスク（ボスボラス海峡クルーズ）をお楽しみください。（イスタンブル泊） 朝□夕

13 イスタンブル（アヤ・ソフィア・モスク） 午前、●アヤ・ソフィア・モスクの見学。その後、2023年に修復を終えたブルーモスクにご案内します。その後、ガイドさんお勧めのチャイハネで一息入れ、自由行動。（イスタンブル泊） 朝□夕

14 イスタンブル15:50発 → 成田空港08:30着 午前、イスタンブルの空港へ。午後、ターキッシュエアラインズ直行便にて帰国の途へ。（機内泊） 朝□機

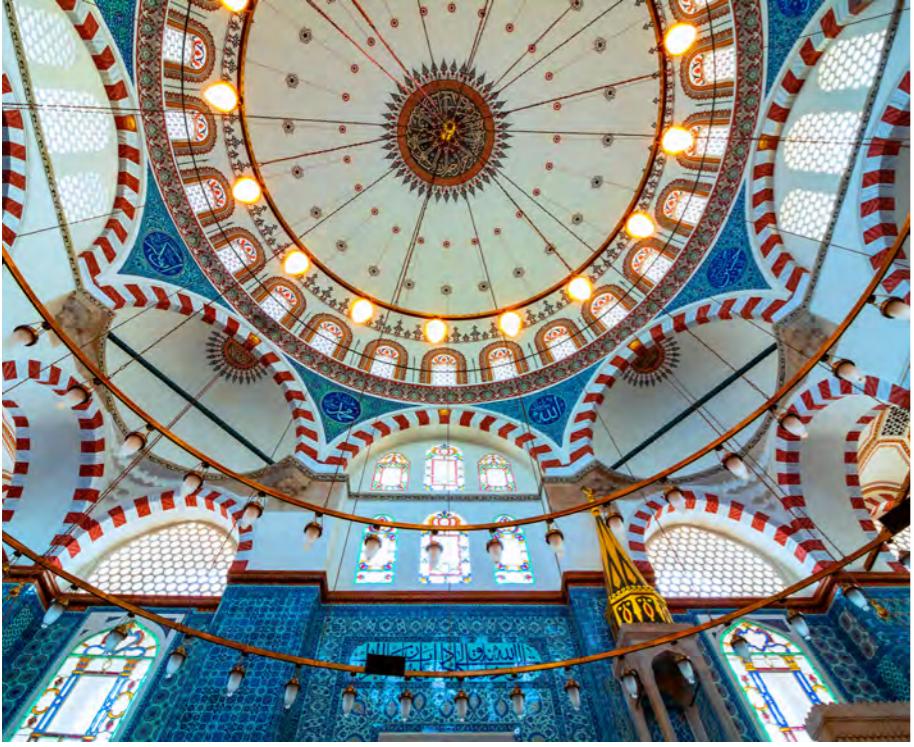
15 成田空港到着後、解散。 機□□

（注）天候により、ご覧いただけない場合もございます。

ご旅行条件ご注意

■ 最少催行人員：10名様 ■ 食事：朝食13回、昼食10回、夕食11回 ■ 添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。■ パスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■ パスポート査証未使用欄：1ページ以上

3回の国内線で効率的に巡る 連泊滞在トルコ周遊の旅 9日間



独特な赤色が鮮やかなリュステム・パシャ・モスク

ここに注目。旅のポイント

イスタンブール旧市街の中心に3連泊

ローマ帝国、ビザンチン帝国、そしてオスマン帝国の都と繁栄の時を過ごした悠久の都イスタンブル。このたびは3連泊して、イスタンブルのシンボルともいえるブルーモスクやオスマン帝国の都を象徴する建築トプカプ宮殿、エジプシャン・バザールなどの見どころを訪ねるとともに、ボスボラス海峡を遊覧し、イスタンブルの美しい

姿をご覧いただきます。旧市街に位置するホテルを確保し、イスタンブルを満喫します。



エジプシャン・バザール



ブルーモスクとボスボラス海峡(イメージ)

洞窟風ホテルに宿泊 カッパドキアの奇岩群を満喫

カッパドキアはトルコを代表する文化遺産であり、自然遺産でもある数少ない世界複合遺産です。このたびは洞窟風ホテルに宿泊し、この2つの側面からカッパドキアの魅力に迫ります。火山灰と溶岩の台地が風雨に浸食された奇岩が立ち並び、約1500年前に迫害から逃れ住み着いた修道士が作ったギョレメ谷の洞窟に残る「暗闇の教会」など

見どころを巡ります。またツアーでは通常観光に加え、ローズバレーから絶景の夕日を眺めます。



キノコのような形をした奇岩(イメージ)



夕日に赤く染まるローズバレー(イメージ)(注2)



ツアープランナーより

広大な国土を誇るトルコ。ヨーロッパとアジアに跨る世界遺産の古都イスタンブルはよく知られていますが、魅力はそれだけではありません。沿岸部には古代ギリシャや古代ローマ文明によって栄えた歴史が刻まれ、中央部から東部の山岳地帯では独特な気候と風土が作り上げた絶景が広がるなど、多様な魅力にふれることができます。しかしバスで巡るとなると移動にそれなりの時間を要します。このたびは国内線を3回利用することでバスの移動時間を大幅に減らして各地に連泊、主要な見所を巡る周遊コースといたしました。イスタンブルの3連泊、奇岩カッパドキア、綿の城の意味を持つパムッカレ、古代遺跡の町エフェソスなど、ゆったりとお楽しみください。



トルコのツアーでは欠かすことのできない主要な見どころカッパドキア(イメージ)

自然が生んだ芸術 白く輝くパムッカレを見学

カッパドキアと並び、もうひとつトルコの代表的な自然遺産がパムッカレです。真っ白な棚田のような風景が目の前に広がると、その美しさに多くの訪問客が感嘆の声を思わず上げてしまいます。トルコ語で「綿の城」を表すこの白い岩

棚は、地中から染み出た温泉に含まれるカルシウムと炭酸が化学反応を起こし、石化したことにより形成されました。気の遠くなるような長い年月の末にでき上がった、まさに自然の芸術作品です。



温泉保養地として知られる一面に白い石灰棚が広がるパムッカレ(イメージ)

ツアーオの見どころ

圧巻の世界遺産エフェソス遺跡をゆっくりご案内

エフェソスはエーゲ海に点在する数々の古代遺跡の中でも、屈指の規模と美しさを誇ります。ギリシャ時代から重要な交易都市として発展し、図書館など必見の遺跡が点しています。

(注1)一部、修復中の箇所がございます。
(注2)天候によってはご覧いただけない場合もございます。



ケルス図書館 1万2000巻ものパピルス図書を所蔵していたとも

「ヒッタイト」の歴史にふれるアナトリア文明博物館

アンカラではアナトリア文明博物館を訪問します。なかでも注目は製鉄技術を産んだヒッタイトの陳列室。王墓から出土したスタンダードと呼ばれる青銅器や鉄製品など、貴重なコレクションです。



スタンダードの工芸品

利用予定航空会社: ターキッシュエアラインズ 集合・日数・出発日		ツアーコード: ME089T
【成田または羽田空港集合・9日間】 2025年5月15日(木), 9月18日(木), 10月16日(木)	エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥1,018,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間: 成田空港または羽田空港~イスタンブル間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安: ¥74,500: 11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋~東京 片道 ¥5,000	各支店へお問い合わせください
	福岡・札幌~東京 片道 ¥10,000	

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:35発 → イスタンブル17:45着	午前、成田空港より、航空機にて、イスタンブルへ。 着後、ホテルへ。 【3連泊】(イスタンブル旧市街地区泊) □機械	
2	イスタンブル (トプカプ宮殿) (ボスポラス海峡クルーズ)	午前、●トプカプ宮殿を見学。ハレム内部を含め、じっくりとご案内します。 午後、●エジプシャン・バザールの散策。また、近くの●リュステム・バシャ・モスクにご案内します。 夕刻、ボスポラス海峡クルーズをお楽しみください。 【イスタンブル旧市街地区泊】朝昼夕	
3	イスタンブル (アヤ・ソフィア) (ブルーモスク)	午前、●アヤ・ソフィア・モスクの見学。その後、2023年に修復を終えた●ブルーモスク、ビザンチン芸術の傑作が見られる●カーリエ・モスクにご案内します。 【イスタンブル旧市街地区泊】朝昼夕	
4	イスタンブル 06:35発 → デニズリ 07:45着 → パムッカレ → クシャダシ17:00着	朝、航空機にてデニズリへ。 着後、○石灰棚パムッカレにご案内します。丘の上には●ヒエラポリスの古代遺跡都市があります。円形劇場や浴場跡が残ります。その後、エーゲ海沿岸のクシャダシへ。 【2連泊】(クシャダシ泊) 国屋夕	
5	クシャダシ (エフェソス遺跡)	午前、エフェソス遺跡の観光(注1)。壯麗な○ケルス図書館、24,000人を収容できた半円形劇場、神殿、浴場など、都市遺跡が保存状態よく残っています。●考古学博物館、●聖母マリアの家、●聖ヨハネ教会などもご案内します。 【クシャダシ泊】朝屋夕	
6	クシャダシ07:30発 → イズミル10:05発 → アンカラ11:20着 → カッパドキア18:00着	朝、イズミル空港に向かいます。 着後、航空機にてアンカラへ。 午後、ヒッタイト遺跡も展示してある●アナトリア文明博物館へご案内し、カッパドキアへ。 カッパドキアでは、洞窟風ホテルに宿泊します。 【2連泊】(カッパドキア泊) 朝屋夕	
7	カッパドキア (暗闇の教会) (ローズバレー)	終日、カッパドキアの観光。ギョレメ谷には岩窟教会が集まり、壁画の保存状態がよい●暗闇の教会を訪れます。さらに、○ゼルベの谷、○ウチザル、○鳩の谷、●伝統的な洞窟スタイルの民家訪問などへご案内します。 夕方、夕陽によって赤く染められるローズバレーの散策へご案内します。(注2) 【カッパドキア泊】朝屋夕	
8	カッパドキア08:30発 → ネビシェヒル10:50発 → イスタンブル12:20着 → イスタンブル15:50発 → 成田空港08:55着	午前、ネビシェヒル空港に向かい、航空機にてイスタンブルへ。 航空機を乗り換え、帰国の途へ。 【機中泊】朝□機	
9	成田空港08:55着	午前、成田空港に到着後、解散。 機□□	

*日程表の時刻は、成田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの羽田空港発着便を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注1)一部、修復中の箇所がございます。

(注2)天候によってはご覧いただけない場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員: 10名様 ■食事: 朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員: 成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート査証未使用機: 1ページ以上必要

ご宿泊ホテル

■イスタンブル: スラ・ハギア・ソフィア・ホテル
イスタンブル旧市街の中心に位置するホテル。ブルーモスクまで徒歩5分程度と抜群の立地を誇ります。

■クシャダシ: カリスマ・デラックス・ホテル
※シャワーのみの客室となります。

■カッパドキア:
ユナック・エヴレリ・カッパドキア

崖をくり抜いて造られたユニークな洞窟風ホテル。5世紀以降、実際に住居として使われていた洞窟風住居と19世紀のギリシャ風の大邸宅を全面改裝して造られた洞窟風たっぷりな滞在をお楽しみください。
※シャワーのみの客室となります。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



ユナック・エヴレリ・カッパドキア

1万2千年前の遺跡群が眠る大地へ 東トルコ・ネムルート山と ギョベクリ・テペ遺跡の旅 10日間

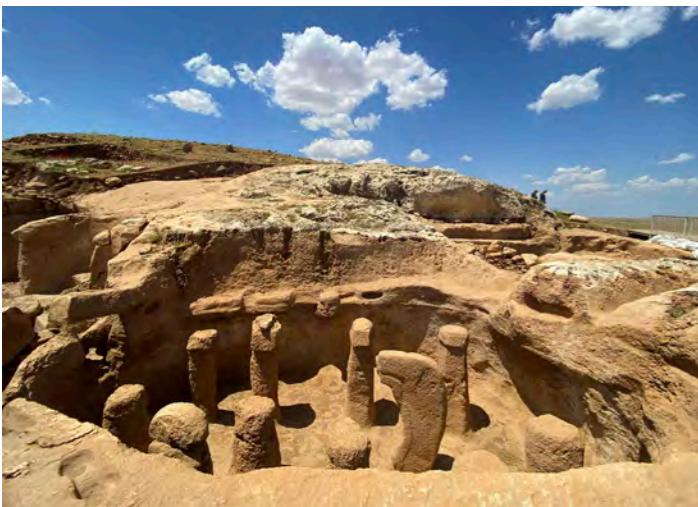


ここに注目。旅のポイント

定説を覆す遺跡「ギョベクリ・テペ」、
さらに古い最古の神殿「カラハン・テペ」へ

氷河期が終わり、海面が上昇し日本
が大陸と切り離された1万2千年前、
トルコ南東部、シャンルウルファの
北東約20キロの丘の上には世界最
古の神殿が造られていました。「ギョ
ベクリ・テペ」と「カラハン・テペ」の両
遺跡が注目されるのは、その建設

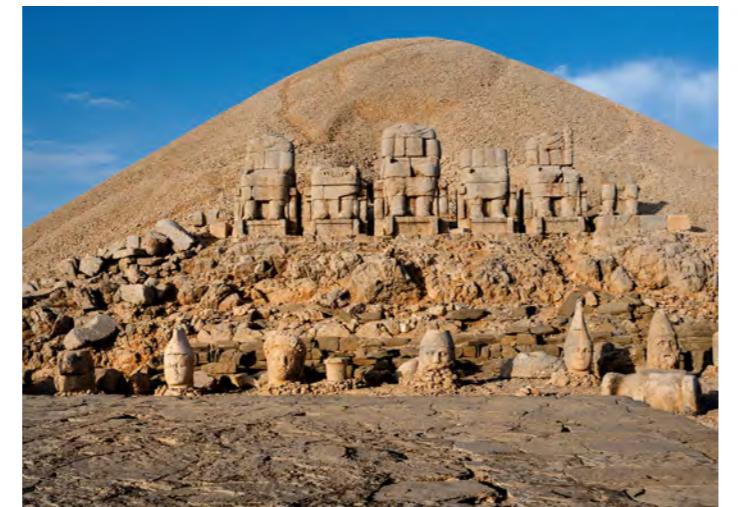
年代で、人類が農耕や牧畜を始め
たとされる時期を2千年以上さかの
ぼるのです。エジプトのピラミッド
やメンボタミアの都市国家遺跡より
なんと7千年も古い時代の遺跡とい
うことになります。



潜在規模はギョベクリ・テペより大きいとされているカラハン・テペ

いまだ謎に包まれている 神秘的なネムルート山頂遺跡を訪ねる

19世紀後半に偶然発見されたネム
ルート山頂遺跡。巨大な神像は紀
元前1世紀にこの地方に栄えたコン
マゲネ王国時代のもので、ギリシャ
とペルシャという東西2つの文明の
影響を強く受け、大変興味深いも
のです。早朝、山頂近くまで行くと
まだ明けきらぬ闇の中に遺跡の輪郭
が見えています。やがて東の空が
白み始め、神々の巨大な頭部が朝
日に照らされる瞬間、そこには長い
眠りから覚めて生命を宿すかのよう
な神秘的な空間が広がります。



コンマゲネ王国の王アンティオコス1世が紀元前62年に建てたとされる巨像



ネムルート山頂遺跡 宗教儀式の場、あるいは王の墳墓とする説がありますが謎は解明されていません

ツアープランナーより

メソポタミア文明、古代オリエントの源となったティグリス川、ユーフラテス川の源流はトルコ南東部にあります。「肥沃な三日月地帯」の中央部にして文明搖籃の地。この地から定説を覆す最古級の神殿跡が続々と発掘されています。今回は、1万2千年前の遺跡「ギョベクリ・テペ」、さらにそれよりも千年古いとされる「カラハン・テペ」の二つの古代遺跡と、東アナトリアの大地に点在する時代を超えた数々の遺跡、建造物をご紹介します。また、紺碧のヴァン湖や、見渡す限りの緑の草原、荒涼たる旧約聖書の舞台、アララト山の雄姿など、美しい自然の風景も目に焼き付いて離れません。歴史の面白さを再認識させる旅へ、お出掛けください。

トルコ最大の湖ヴァン湖 自然景観と奥深い歴史を楽しむ

トルコ最大のヴァン湖東岸の町ヴァンは強大なアッシリア帝国と対抗するほど栄えたウラルトゥ王国の本拠地でした。ここでは湖に浮かぶ島へと渡り、古来のアルメニア教会を訪ねます。エメラルドブルーの湖水とアルメニア教会のコントラストはまるで絵葉書のようです。また、トルコの至宝とされる猫がいます。世界中に千匹ほどとされる希少な猫で、

現在はヴァン猫研究所で厳重に保護されており、世界でここでしか見ることができません。



左右の目の色が違うヴァン猫(イメージ)



ヴァン湖とアルメニア教会(イメージ)

ツアーの見どころ

「ノアの方舟」伝説が息づくアララト山を望みます

有名な「ノアの方舟」伝説。その方舟の漂着地こそが、トルコとアルメニアの国境に位置するアララト山だと考えられています。その堂々とした姿は伝説にふさわしく、聖書の舞台に立ったかのようです。



伝説の地アララト山(イメージ)

ガズィアンテップで 世界最大級のモザイク博物館を訪問

セウグマ・モザイク博物館はチュニスのバルトー国立博物館を凌ぐ規模を誇り、今やトルコの至宝のひとつ。いずれも保存状態が極めて良く、2千年近く前の作品とは思えない、まさに圧巻の博物館です。



セウグマ・モザイク博物館のモザイク「ジブシーの少女」

ご宿泊ホテル

- ガズィアンテップ：ディヴァン・ガズィアンテップ
- シャンルウルファ：アラ・ハン・ブティック・ホテル
- ネムルート山麓：ホテル・ユーフラット・ネムルート
- ピンギョル：グランド・ペルティ
- ヴァン：ダブルツリー・バイ・ヒルトン・ホテル・ヴァン
- ドゥバヤジット：ドーオーシュ・ホテル

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

集合・日数・出発日	旅行代金
【成田または羽田空港集合・10日間】 2025年 6月19日(木)	エコノミークラス利用 ¥568,000 ビジネスクラス利用 ¥1,148,000
2025年 8月7日(木)	エコノミークラス利用 ¥598,000 ビジネスクラス利用 ¥1,178,000
2025年 10月9日(木)	エコノミークラス利用 ¥568,000 ビジネスクラス利用 ¥1,148,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)
ビジネスクラス利用区間：成田空港または羽田空港～イスタンブール間往復に適用
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：11月1日現在

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 ¥5,000	福岡・札幌～東京 片道 ¥10,000
	各支店へお問い合わせください。	

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:35発→ イスタンブール17:45着 イスタンブール20:55発→ ガズィアンテップ22:45着	午前、航空機にて、イスタンブールへ。 航空機を乗り換え、ガズィアンテップへ。 (ガズィアンテップ泊) □機械	
2	ガズィアンテップ14:00発→ シャンルウルファ 16:30着	午前、ガズィアンテップの観光。●セウグマ・モザイク博物館を見学します。 午後、シャンルウルファへ。 【2連泊】(シャンルウルファ泊) 朝昼夕	
3	シャンルウルファ → (カラハン・テペ) (ギョベクリ・テペ)	午前、●カラハン・テペ古代遺跡を参観。 午後、神殿遺跡・ギョベクリ・テペの参観。 (シャンルウルファ泊) 朝昼夕	
4	シャンルウルファ 13:00発→ ネムルート山麓 17:00着	午前、●シャンルウルファ考古学博物館にて、ギョベクリ・テペ遺跡などからの夥しい数の出土品を見学。 午後、バスにてネムルート山麓へ。 (ネムルート山麓泊) 朝昼夕	
5	ネムルート山麓12:00発→ ピンギョル18:00着	早朝、ネムルート山へ。圧巻の巨石像が待っています。 ホテルへ戻り、朝食後、休憩。ご希望の方は実費にて、コンマゲネ王朝の王宮跡アルサメイア、王朝のカラクシュ古墳、ローマ時代に架けられたジェンデレ橋にご案内します。 その後、ピンギョルへ向かいます。 (ピンギョル泊) 朝昼夕	
6	ピンギョル08:30発→ ヴァン15:00着	午前、ヴァン湖に向かいます。 着後、ヴァン湖に浮かぶアクダマル島にボートで渡り、●アルメニア教会を見学します。 【2連泊】(ヴァン泊) 朝昼夕	
7	ヴァン	終日、謎のウラルトゥ王国の都ヴァンの観光。●チャウシュ・テペ遺跡、○ホシャップ城、ヴァン城跡と●ヴァン博物館を訪ねます。 (ヴァン泊) 朝昼夕	
8	ヴァン10:00発→ ドゥバヤジット13:00着	午前、ヴァン大学獣医学科が管理するヴァン猫研究所に立ち寄ります。左右の目の色が違うヴァン猫をご覧ください。 午後、アララト山麓の国境の町ドゥバヤジットへ。着後、ノアの方舟の跡にご案内します。 (ドゥバヤジット泊) 朝昼夕	
9	ドゥバヤジット07:45発→ アール11:25発→ イスタンブール13:55着 イスタンブール15:50発→	朝、アール空港へ向かいます。 午前、国内線にてイスタンブールへ。 航空機を乗り換えて、帰国の途へ。 (機中泊) 朝□機	
10	成田空港08:55着	午前、成田空港に到着後、解散。 機□□	

*日程表の時刻は成田空港発着のターキッシュエアラインズの便を想定したものです。羽田空港利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用機種：1ページ以上必要

トルコ・アナトリア地方へ ヒッタイト王国とフリギア王国 2つの古代文明を訪ねて 9日間



ヒッタイト都ハットゥシャシ遺跡ではライオンの門が迎えてくれます

ここに注目。旅のポイント

世紀の発見の現場 カマン・カレホユック遺跡と考古学博物館へ

1979年、三笠宮崇仁親王殿下の発意で財団法人中近東文化センターが建設され、その付属機関として1998年5月に「アナトリア考古学研究所」がカマンに置かれました。その研究所が中心となり発掘してきたのが、カマン・カレホユック遺跡です。世界最古の鉄器や世界最古級の鉄の塊がこの遺跡から発掘され、製鉄の起源はヒッタイトとする通説が覆る



かもしれない世紀の発見といわれています。カマン・カレホユック考古学博物館と日本庭園にご案内します。



様々な貴重な発見があったカマン・カレホユック遺跡(イメージ:発掘状況により遺跡は遠望となる可能性があります) ©トルコ共和国大使館・文化広報参事官室

古代エジプトと覇権を争ったヒッタイトの都を探訪

紀元前1000年頃、アナトリアに強大な国を築いたヒッタイト人。ツアーではヒッタイト王国の首都として栄えたハットゥシャシ遺跡を見学します。現在もライオンの門、スフィンクスの門が残され、当時の姿を知ることができます。また、近郊のヤズルカヤ遺跡やアラジャホユック遺跡も訪問します。3000年以上遡る遺跡のため建物などは残されていませんが、とりわけ前者の「大ギャラリー」、

「小ギャラリー」と呼ばれる美しいレリーフは必見です。



ヤズルカヤ遺跡の見事なレリーフ



ツアープランナーより

トルコといえばイスタンブル=オスマン帝国のイメージが強くありますが、東西文明の十字路であるそこは、さらに深い歴史を持ちます。その主な舞台がアジア側のアナトリア半島です。このツアーでは、鉄器と馬の使用で知られるヒッタイトの都ハットゥシャシやヒッタイトよりも前の最も古い鉄器が見つかった世紀の発見とも言われるカマン・カレホユック遺跡をご案内します。また、ヒッタイト後に成立したフリギア王国の都ゴルディオン、オスマン帝国へつながるトルコの壁を築いたセルジューク朝時代の木造モスクなども訪れます。広大なトルコにおいて、訪問地をアナトリアに絞り、オスマン帝国以前のトルコの歴史遺産を探訪する旅といたします。

世界遺産に登録された フリギア王国の都ゴルディオンを訪問

フリギアはヒッタイトの滅亡後、紀元前8世紀にアナトリアで権勢を誇った王国です。ゴルディオンはその政治、文化の首都でした。当時の建物跡やミダス王の墳墓などが残されています。ミダス王は童話で有名な「王様の耳はロバの耳」の王様です。墳墓の墓室は現存する世界最古の木造建築ともいわれ、フリギアの文明を解明するための貴重な遺産が数多く保存されていること



ミダス王のモニュメント

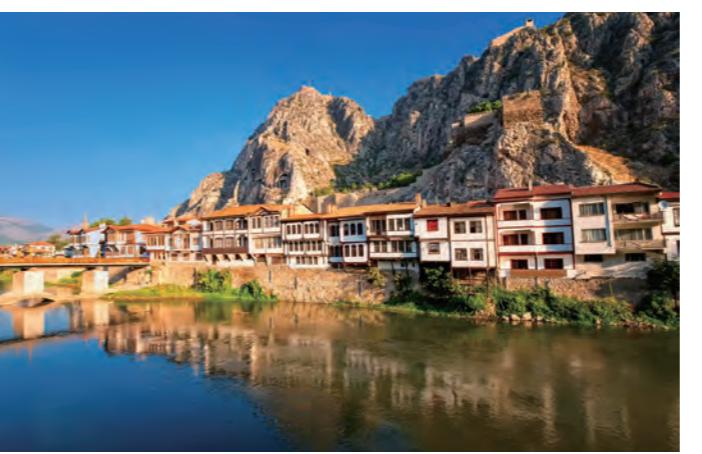


ゴルディオン遺跡 ミダス王の墳墓

ツアービーの見どころ

アナトリア最古の風光明媚な町アマスヤを散策

アマスヤは紀元前3世紀に遡るポントス王国の首都であり、アナトリアで最も古い町のひとつです。アマスヤ城と岩窟墳墓が残っており、セルジューク朝、オスマン帝国時代の家並みも残されています。



イェシル川沿いにはオスマン帝国時代の木造建築が残ります(イメージ)

ご宿泊ホテル

- アンカラ：アナドル・ホテルズ・エゼンボガ・テルマル
※シャワーのみの客室となります。
- チョルム：アニア・ホテル
※シャワーのみのお部屋となります。
- アンカラ：アンカラ・ヒルトンSA
- エスキシル：ラマダ・プラザ・バイ・ウインダム・エスキシル
※シャワーのみの客室となります。

※バスルーム付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

ツアーコード：ME180T

集合・日数・出発日

旅行代金

【成田または羽田空港集合・9日間】

ツアーコード：ME180T

2025年 4月17日(木),
10月16日(木)

ビジネスクラス利用

エコノミークラス利用

¥1,078,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)

ビジネスクラス利用区間：東京～イスタンブル間往復に適用

燃油サーチャージ別途安：¥74,500: 11月1日現在

地方発着追加代金 大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000
福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000

各支店へお問い合わせください

日 時 訪問地 スケジュール 宿泊地・食事

1 成田空港10:35発 → 午前、成田空港より航空機にてイスタンブルへ。

航空機を乗り換え、アンカラへ。

(アンカラ泊) □機械

1 アンカラ09:00発 → 午前、チョルムへ向かいます。
午後、ヒッタイト遺跡の展示が充実した●チョルム博物館を見学。
【2連泊】(チョルム泊) 朝昼夕

2 チョルム12:30着

3 チョルム (アマスヤ)
午前、河岸の美しい景観とオスマン朝、セルジューク朝の建築の宝庫アマスヤへ。着後、古い建物が並ぶ旧市街、●アマスヤ博物館を見学します。
その後、チョルムに戻ります。
(チョルム泊) 朝昼夕

4 チョルム08:30発 → 午前、ヒッタイト時代より更に古い王墓が発見された●アラジャホユック遺跡の見学。その後、聖地●ヤズルカヤ遺跡、ヒッタイトの首都が置かれた●ハットゥシャシ遺跡を見学。
午後、アンカラへ。
【2連泊】(アンカラ泊) 朝昼夕

5 アンカラ (カマン・カレホユック遺跡)
(アナトリア文明博物館)
午前、カマンとその周辺の観光。1986年以降、三笠宮殿下らの努力によって発掘調査が進められてきたアナトリア考古学研究所が発掘作業を進めており、○カマン・カレホユック考古学博物館、日本庭園にご案内します。
午後、アンカラに戻り、●アナトリア文明博物館へご案内します。
フリギア王国の出土品を中心に見学します。
(アンカラ泊) 朝昼夕

6 アンカラ 09:00発 → 午前、バスにてエスキシルへ向かいます。途中、フリギア王国の都として栄えた●ゴルディオン遺跡では「ミダス王の墳墓」や城塞、住居跡を見学します。
また、シプリヒサルの圓●ウル・モスクも見学します。
午後、エスキシルの旧市街散策をお楽しみください。
【2連泊】(エスキシル泊) 朝昼夕

7 エスキシル (フリギア渓谷の遺跡群)
(アイゾノイ遺跡)
午前、ヒッタイト滅亡後に隆盛を誇ったフリギア人の遺跡群「フリギア渓谷」の遺跡を見学。巨大な墳墓が残されたアラジャホユック遺跡、ミダス王のモニュメントが残されたヤズルカヤをご覧いただきます。
午後、保存状態の良い、ハドリアヌス帝時代の●アイゾノイ遺跡 (エスキシル泊) 朝昼夕

8 エスキシル 07:00発 → 朝、バスにてイスタンブル空港へ。
午後、航空機にて、帰国の途へ。
(機中泊) 朝□機

9 成田空港08:55着
午前、成田空港に到着後、解散。
機□□

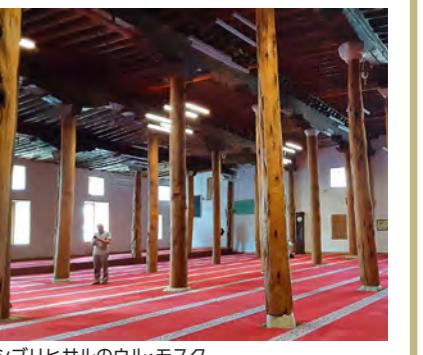
※日程表の時刻は、成田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したもので、ターキッシュエアラインズの羽田空港発着便を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。

ご旅行条件ご注意

■ 最少催行人員：10名様 ■ 食事：朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■ 添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■ パスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■ パスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

セルジューク朝時代の多柱木造モスク

シプリヒサルの世界遺産



シプリヒサルのウル・モスク

ウル・モスクを訪ねます。

木造の平らな天井と多柱

から成る構造で67本も

の柱で屋根を支えています。

幾何学模様や花柄

があしらわれた説教台は

傑作といわれています。

ヨーロッパ側の旧市街、散策に便利な立地のホテルに6連泊 悠久のイスタンブル満喫の旅 8日間

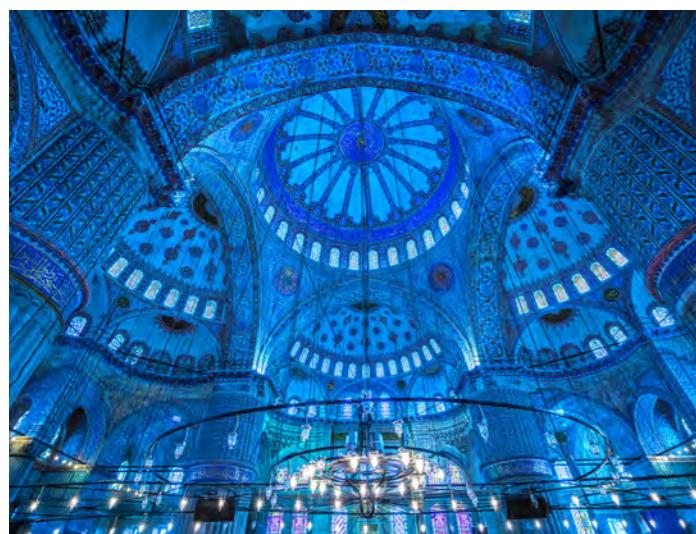


トプカプ宮殿 ハレム 皇帝の間

ここに注目。旅のポイント

今も移り変わるイスタンブルをしっかりとご案内します

時代により多様な表情を纏ってきた悠久の古都イスタンブル。元々はキリスト教の聖堂だったアヤ・ソフィアがモスク化するなど、現在進行形で歴史が動くこの街の最旬スポットへとご案内します。オスマン帝国の都を象徴する建築トプカプ宮



世界で最も美しいモスクとも言われるブルーモスク(イメージ)

宮廷建築家ミマール・シナンの傑作建築を巡ります

殿では、観覧可能エリアが約2倍に拡充された内部をじっくりと見学。数年の修復を経て2023年春から再公開となった通称「ブルーモスク」も必見で、輝きを取り戻した姿は往時の威光を感じさせます。



かわいらしい内装のミフリマー・スルタン・モスク



これぞイスタンブルという風景を構成するスレイマニエ・モスク(イメージ)



再びモスクとして利用されるようになったアヤ・ソフィア

ツアープランナーより

ボスポラス海峡を挟んで、世界で唯一ヨーロッパとアジアの2つの大陸にまたがるトルコ最大の都市イスタンブル。かつて、東ローマ帝国、オスマン帝国という延べ1000年以上にわたり続いた大帝国の都であり、古くから多民族が行き交った「東西文明の十字路」は、いまも世界の旅人が行き交う一大国際都市です。この西洋と東洋が混在した悠久の歴史が息づくイスタンブルの魅力をじっくりと味わえるよう、宿泊するホテルはヨーロッパ側の旧市街、散策に便利な立地にこだわりました。ゆったり6連泊しますので、修復を終え輝きを増したアヤ・ソフィアをはじめとする世界遺産の歴史地区や、天才建築家シナンのモスク巡り、金角湾のフェリー乗船など、悠久の古都をご堪能いただきます。イスタンブルが初めての方はもちろん、再訪の方にもおすすめいたします。

東ローマ帝国の栄華 ビザンチンの面影を訪ねて

モザイク画やフレスコ画で知られるカーリエ博物館が、2024年5月にカーリエ・モスクとして再オープン。東ローマ帝国時代にキリスト教の聖堂として建立。オスマン帝国時代にはモスクとなり、偶像崇拜を禁じたイスラムの教えにより内装が漆喰で封じられていましたが、それが逆に保護の役割を果たしました。1000年の時を超えて蘇ったビザンチン芸術の傑作をご覧いただきます。ま



テオドシウスの城壁



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

ツアーコード：ME007T

集合・日数・出発日	エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用
【成田空港集合・8日間】 2025年9月24日(水), 10月8日(水)	¥475,000	¥1,055,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金￥110,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田空港～イスタンブル間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安：￥68,500：11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 ¥5,000	各支店へお問い合わせください
	福岡・札幌～東京 片道 ¥10,000	



イスタンブルの世界遺産のひとつ、カーリエ・モスク

ツアーの見どころ

ピエール・ロティ山頂のチャイハネから街を一望

ユエップではケーブルカーに乗り、トルコを愛したフランス人作家の名を持つ小高い丘ピエール・ロティの山頂へ。絶好のロケーションにあるチャイハネを訪れ、チャイと共に金角湾や新旧市街地の眺望をお楽しみいただきます。



ピエール・ロティ山頂でひと休み(イメージ)

バザールを見下ろす有名レストランでの昼食

エジプシャン・バザールの建物の2階の片隅にあるレストラン「パンデリ」での昼食をご用意しました。トルコの著名人から政界の大物までが通ったという名店で、かつてはオードリー・ヘップバーンも来店したといいます。



レストラン「パンデリ」有名なブルメガイドブックにも掲載されています

ご宿泊ホテル

ヨーロッパ側イスタンブル 旧市街：スラ・ハギア・ソフィア・ホテル

ヨーロッパ側、旧市街の中心に位置する「スラ・ハギア・ソフィア」に6連泊。アヤ・ソフィアやブルーモスクへは徒歩約5分。トプカプ宮殿など旧市街の見どころのほとんどが徒歩約10分程度圏内という抜群の立地のホテルを確保しました。



スラ・ハギア・ソフィア・ホテル

※バスルーム付き客室をご用意するよう努めていますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食3回、夕食3回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■パスポート査証未使用欄：1ページ以上必要